

# 辰野町集落支援員 木建 景

活動報告書



# 活動テーマ

## 食と農の地域循環（地場食材の地場消費）

地域おこし協力隊（移住定住）任務の経験を経て  
地域の課題として耕作放棄地が存在しているにも関わらず  
多くの移住（希望）者が仕事としての“農”について興味をもっているが  
通年対価を得ることが難しい現状を知った。

地域の食材がより地域内で流通、消費されるような仕組み作りを行うことで  
課題が解決に向かうのでは

# 活動内容

# 学校給食の食材を提供する会への参加

## 課題

- 生産者の高齢化
- ボランティア化（低単価の取引）
- 集配コスト（学校へ個々で集配）

## 活動指針

- 集配や事務の代理
- 取引単価の向上
- 新規生産者の発掘



# 集配や事務の代理

## 内容

1. 集荷場を用意し、保育園6園、幼稚園1園、小学校5校、中学校1校へ纏めて代理配送を行った。
2. 受発注の仕組を紙媒体からデジタルへ変更した。

## 結果

集配、受発注、統計解析等の負担を軽減し、既存生産量が維持されている。

給食食材用集荷場所



# 取引単価の向上

## 内容

- 1.市場価格との勘案、生産者通しの会議を経て教育委員会へ申し入れを行った。
- 2.単価の上昇に伴う学校（父兄）の負担、給食の品質低下を抑えるため、生産物に対し町の補助を要望。

## 結果

2年目に10%、3年目に40%の単価向上を達成。  
町から給食用食材の買い取り補助が2年目より開始された。

# 新規生産者の発掘

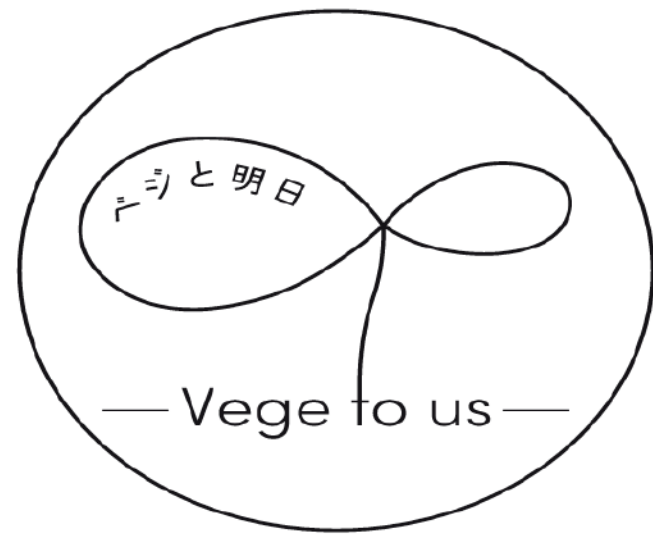
## 内容

1. 既存生産者に対し会合などでチラシの配布、呼びかけを行った。
2. 次世代の生産者を育成する機関を新設した。

## 結果

新たに5名の生産者が加入 ※内3名は高齢者

3年目に次世代の生産者グループ「ベジと明日」を新事業として設立（メンバー6名）



ベジと明日





# 活動の目的

1. 家族や子どもたちのための安心安全でおいしい野菜、加工品を生産する。
2. 食と農を通じて辰野町の暮らし（仕事と生活）を豊かにする。

# 活動内容

01

## 給食食材の生産

知らない遠くの誰かのためではなく  
私たち（こども、家族、目の届く人た  
ち）のための野菜を生産します。  
きっと安心でよいものができるはず。

02

## 地域食材の加工

効率的な地場食材の地元供給を目  
指し飽和する野菜や果樹を加工し  
再度町内へ供給します。  
栽培だけでは分からなかった野菜  
の良さも発見しよう。

令和5年度は産業振興課有機農業試験圃場にて水稻並びに給食用野菜の生産を実施。

保育園、幼稚園、小中学校へ生産物の寄付を実施。

有機給食に向けて松川町や有機農業実践者への視察等を実施。

また、通年働ける環境づくりとして切干大根や野菜のピューレ、知己食材を使った新たな商品開発など加工も行った。



# ベジとテーブル

馬淵商店さんの協力を得て  
2024年2月に  
「自分たちの夕食を作りながら働こう」  
と新たにお惣菜、カフェの営業形態を持つ「ベジとテーブル」をオープン。

一次加工だけでなくお惣菜やフードメニューにすることでより多く効率的に地場食材を消費できる場所となった。



# 最後に

自分たちの暮らしの中で必要なものを作り、対価を得て生活する。

この輪が大きくしていけば地域循環は起こり人口の流出は緩やかになると信じています。